



Universala Esperanto-Asocio
Por daŭripova
lingva kaj kultura diverseco



RIO+20
Konferenco de
Unuiĝintaj Nacioj
pri daŭripova
evoluo

持続可能なコミュニケーションと言語権

「私たちの望む未来」
「持続可能な開発への新しい道」
「2030年の人々のためにあなたは何を提案しますか」

これらの問いかけにより、国連は市民社会に具体的な提案をするよう働きかけています。

私たち世界エスペラント協会（UEA）では、「グリーン経済」の考え方に基づく全世界的な言語政策、普遍的な平等コミュニケーション権、そして言語・文化の多様性の保護に取り組んでいます。

ユネスコは、極貧の撲滅に対し言語が戦略的な役割を果たしていること、そして実際、言語が戦略的社会要因であるだけでなく、個人のアイデンティティーにとって不可欠なものであることを公式に宣言しています。そのため、UEAはユネスコの諮問機関として、また国連と公式関係にある組織として、言語権の保護に関して積極的な活動を続けています。

差別が全世界に広がる今日、UEAでは言語権・文化権の擁護を訴えています。その中で、万人のための第二言語に関するユネスコ決議を具体化することにより、人間を解放すること、そして持続可能な方法で効果的なコミュニケーションを実現することを提案しています。

UEAは、Rio+20において、現在の言語差別および小民族に対する大民族の文化覇権が明確に非難されることを希望します。

言語は、ユネスコが採択した「万人のための教育」の6つの目標の達成に中心的な重要性を有します。第二言語としての国際語エスペラントの広範な使用は、その経済社会的な中立性、学習容易性、世界中の教育制度における民族語の尊重などにより、本質的に持続可能と言えますよう。

技術適応力のある近代的な言語エスペラントは、例えば、グーグルトランスレータ（エスペラントを含め64言語に対応）と同じ目標、すなわち人々の相互理解を支援することを目指しています。世界にある6800言語の中でエスペラントは最も使われている100言語に入っています。また、ウィキペディアでは27位につけています。

今日の全世界的な言語覇権から脱却し、倫理的に正しい解決策に移行するには、そして差別のない基盤に立った、中立性と持続可能性に裏付けられた効果的なコミュニケーションを目指すには、平和と持続可能性を考慮した上で、最上位の国際機関で政治的な決定が強固になされることが必要です。

全ての民族に受け入れられるという意味で、どの民族にも属さない中立な言語、国際語として生まれた言語のみが、協調的かつ効果的なコミュニケーションの達成という人類にとっての大きな課題を解決することができるでしょう。